

令和6年度子育て支援図書贈呈事業図書カタログ(小学校中学年)

| | | | | |
|--|--|--|---|--|
| <p>①</p>  <p>22 × 16cm 184p</p> | <p>②</p>  <p>22 × 16cm 95p</p> | <p>③</p>  <p>23 × 22cm 32p</p> | <p>④</p>  <p>21 × 15cm 132p</p> | <p>⑤</p>  <p>21 × 22cm 47p</p> |
| <p>おばあさんの大切なコーヒーひきをぬすんだ大どろぼうホツツェンプロッツ。コーヒーひきを取り返すために二人の少年が活躍する、思わぬ展開に目が離せない冒険物語です。</p> | <p>日曜日の図工室では、ねんどでできたきょうりゅうがずっと窓の外をみている。実はひとりぼっち病のきょうりゅうが、いどう動物園でみたものは？</p> | <p>桜島、阿蘇山、八丈島、雲仙岳、樽前山、羊蹄山…。日本にあるたくさんの火山。そのすがたと活動を、火山学者とプロカメラマンが、迫力のある写真とともに紹介する。</p> | <p>ポンポンはレストランのコックさん。料理が上手で、おまけに食いしん坊。だから、いつもおいしいような食べ物が出てくる。ポンポンと動物たちのハッピーになれるおいしいお話。</p> | <p>牛は「1頭」と数えるのに、ひつじは「1匹」。魚の数え方「尾・本・枚」の使い分けは？数え方の基本から、大人も迷う難しい使い分け方まで、日本語の「数の数え方」が楽しく学べる本。</p> |
| <p>「大どろぼうホツツェンプロッツ」 オトフリート・プロイスラー 作 中村 浩三 訳 偕成社</p> | <p>「図工室の日曜日」 村上 しいこ 作 田中 六大 絵 講談社</p> | <p>「生きている火山」 宮武 健仁 写真・文 井口 正人 監修 くもん出版</p> | <p>「パンダのポンポン」 野中 柊 作 長崎 訓子 絵 理論社</p> | <p>「数え方のえほん」 高野 紀子 作 あすなろ書房</p> |
| <p>⑥</p>  <p>31 × 22cm 32p</p> | <p>⑦</p>  <p>30 × 22cm 32p</p> | <p>⑧</p>  <p>26 × 26cm 36p</p> | <p>⑨</p>  <p>21 × 15cm 272p</p> | <p>⑩</p>  <p>24 × 19cm 48p</p> |
| <p>位の高い熊の神が、石狩川の上流に住むアイヌのところへお客になりに行った。そこで踊りの上手な若者に会い、熊の神は…。人生に大切なことがたくさんあったアイヌの昔話。</p> | <p>すべてのいきものたちは、すてきな名前をもっている。いきものたちの名前、知っているかな？むずかしい漢字、読めるかな？おおぜいで楽しめる、いきもの漢字絵本。</p> | <p>私たちの生活に欠かせないプラスチック。そのプラスチックが海に流れ込み、海を汚し、生き物たちを苦しめています。この絵本で海洋汚染を考えるとともに、きれいな海を取り戻すには、どうしたらいいのか考えていきましょう。</p> | <p>ひとり立ちした魔女の子キキが新しい町ではじめての商売は？相棒の黒猫ジジと喜び悲しみを共にしながら、町の人たちに受け入れられるようになるまでの1年をさわやかに描いた物語。</p> | <p>こどもとおとなと、そのあいだのひとたちに読んでほしい、ヨシタケシンスケが描く12の「たとえばこんな考え方、どうでしょう」の絵本。</p> |
| <p>「ひまなこなべ」 萱野 茂 文 どい かや 絵 あすなろ書房 絵本</p> | <p>「いきもの漢字図」 えぞき みつる 作 あすなろ書房 絵本</p> | <p>「プラスチックのうみ」 ミシェル・ロード 作 ジュリア・ブラットマン 絵 小学館 絵本</p> | <p>「魔女の宅急便」 角野 栄子 作 林 明子 画 福音館書店 絵本</p> | <p>「なんだろうなんだろう」 ヨシタケ シンスケ 著 光村図書出版 絵本</p> |
| <p>⑪</p>  <p>22 × 15cm 144p</p> | <p>⑫</p>  <p>21 × 15cm 126p</p> | <p>⑬</p>  <p>18 × 13cm 158p</p> | <p>⑭</p>  <p>26 × 21cm 37p</p> | <p>⑮</p>  <p>22 × 16cm 124p</p> |
| <p>もう少しで殺処分になりそうなところをベテラン指導士に引き取られたトイプードルのアンズ。コツコツと訓練を重ねて、ついに警察犬に。小型警察犬としてがんばるトイプードルの物語。</p> | <p>商店街の福引で幸介が当てたのは、「神様の卵」。やがて神様の誕生を迎えると、願い事が叶い放題だと喜び、お母さんと一緒に願望をぶつけるべく、赤んぼで手のかかる神様の世話を明け暮れます。</p> | <p>お化けの学校「オウマガドキ学園」は今日が入学式。時刻は真夜中、河童巻三校長先生の入学式のあいさつをしています。今回は「学校・夜・時間」にまつわる怪談12編をお届けします。</p> | <p>北の自然の守り神といわれるヒグマ。東川町に住む獣医師で写真家の竹田津実が知床の大地で2頭の子グマと母クマを追った写真絵本。実際に観察すると、おだやかな人間との歴史が見えてきます。</p> | <p>動物島を脱出したエルマーとりゅうは、嵐にあり、ある島の近くに不時着します。そこはカナリヤだけが住む島で、「しりたがりびょう」に苦しむ王様はエルマーたちに秘密の宝箱を開けてくれるよう頼みます。</p> |
| <p>「警察犬になったアンズ」 鈴木 博房 著 岩崎書店</p> | <p>「かみさまのベビーシッター」 廣嶋 玲子 作 木村 いこ 絵 理論社</p> | <p>「怪談オウマガドキ学園 1 真夜中の入学式」 常光 徹 責任編集 村田 桃香・かとう くみこ 外絵 童心社</p> | <p>「ヒグマ」 竹田津 実 文・写真 アリス館 絵本</p> | <p>「エルマーとりゅう」 ルース・スタイルス・ガネット さく ルース・クリスマン・ガネット え わたなべ しげお やく 福音館書店</p> |